

市有形
文化財

兄川山の神像を展示します

一躍有名になった「素朴で愛らしい神像」が市博物館に

【発表の要旨】

各地で行われた企画展「みちのくいとしい仏たち」で、一躍全国的に有名になった「兄川山の神像」。昨年度は巡回展に出展のため、盛岡・京都・東京に出張していましたが、1年ぶりに無事にふるさとに帰ってきました。

神社にお戻しする前に「おかえりなさい、神さま。」展として、八幡平市博物館で展示をさせていただくことになりました。

- 1 展示場所** 八幡平市博物館(八幡平市叭田 230)
- 2 展示日時** 6月1日(土)から6月30日(日)まで
開館 9時から16時30分(入館は16時まで)
月曜日は休館
入館料 210円(団体20名以上の場合150円)
中学生以下無料
- 3 展示** 兄川山の神像
松木田八幡宮の山犬像
松木田駒形神社の蒼前神騎馬像
佐比内の山神(複製) ※常設展示
- 4 その他(昨年度中の展示歴)**
岩手県立美術館 2023年4月8日～5月21日
龍谷大学 龍谷ミュージアム 2023年9月16日～11月19日
東京ステーションギャラリー 2023年12月2日～2024年2月12日



兄川山の神像

プラスα

仏像の概要と特徴

「兄川山の神像」は、当市安代地区兄川に所在する兄川稲荷神社(八幡平市作平140-4)の境内にある兄川山神宮に祀られています。

山仕事が盛んなこの地域の人々に、山の神と呼ばれ親しまれている兄川山の神像は、江戸時代につくられたと考えられており、安代地区で最も古いといわれています。平成26年8月1日には「兄川山神宮の山神像」として市指定有形民俗文化財に指定されました。手を合わせた姿に、山仕事の必需品である袴をはかせて山の神を表現しています。

兄川の山神像のように、北東北には、仏を彫るために本格的な修行を積んだ仏師ではなく、仏師の資格をもたない人が地域の人々のためにつくった仏像が数多く残されています。仏像を彫る時の決まりごとにとらわれず、自由に表現された姿には、なんとも言えない魅力があります。



像が祀られる兄川山神宮

【担当】

文化スポーツ課

生涯学習係 田中美穂

電話 0195-74-2111 (内線 1143)